市政に関する一般質問

今定例会では、２６名の議員が一般質問を行いました。

会議録の閲覧

【今定例会の会議録】
図書館等、議会ＨＰで８月下旬頃から閲覧できます。

【閲覧場所】
図書館／市民センター／議会事務局／情報公開窓口（東庁舎）

会派名　議員氏名　**一般質問の表題**　質問の順番

問　（質問の要約）

答　答弁者　※（答弁の要約）

質問　通告事項の要約

※ 印の付いた答弁は複数の答弁者の発言をまとめたものです。

政晴会　明ケ戸　亮太　**人件費の大幅増を指摘！**　1

問 正規職員の人件費は臨時職員の約４倍から約12倍。新給食センターの稼働に伴い直営センターの人件費が増加するが、給食の質は向上するのか？

答 学校教育部長　学校給食を運営するうえで、藤間・吉田学校給食センターの老朽化の問題や今成学校給食センターの２回転調理の課題が解決され、運営面では改善が図られる。併せて、菅間・今成・新学校給食センター全体で見た場合、中長期的には経費削減が図られるものと考える。正規と臨時職員の割合がどのように変わろうとも、給食に携わるものとして、給食の質を常に向上させていくことが責務と考える。

質問 下水道整備計画

質問 ふるさと納税ＰＲ戦略

質問 給食センターの運営

やまぶき会　中原　秀文　**教育におけるＩＣＴ利活用**　2

問 多くの近隣市町村・中核市で普通教室のＬＡＮ整備率がほぼ１００％に対し、川越市は４・３％である。今後のＩＣＴ利活用の考えを伺う。

答 教育長※　ＩＣＴ機器の有効活用は、児童生徒の学習意欲の向上や主体的な学びに繋げることができ、学力の向上に効果がある。本市では、児童生徒の情報活用能力の育成、分かりやすく深まる授業の実現等を掲げた情報化推進計画を作成し、次期学習指導要領で注目されている子どもたち同士が教え合い学び合う協働的な学びの創造を柱の一つとしＩＣＴを利活用できる環境整備を推進していく。

質問 教育でのＩＣＴ利活用

質問 高齢者対象公民館活用

質問 川越駅東口

やまぶき会　小高　浩行　**本年度の保育施設整備内容**　3

問 就学前児童に対する子育て支援として、本年度、新たに整備される保育施設の内容について伺いたい。

答 こども未来部長　本年度整備される保育施設は、社会福祉法人による１００名定員の民間保育所が２箇所で、場所は、本庁管内の城南中学校近くと山田地区内の山田市民センター近くを予定している。その他、霞ケ関北地区内で民間保育所１箇所の増改築と、大東地区内の幼稚園１箇所が認定こども園への移行に伴う整備を行う予定である。

　また、新設の保育所については、地域の実情等を踏まえて、子育て支援センター等の設置について検討していく。

質問 就学前の子育て支援

質問 （仮称）川越東環状線

自由民主党　岸　啓祐　**笠幡駅周辺整備と今後**　4

問 ５年後の東京五輪ゴルフ競技開催予定地の最寄り駅・笠幡駅周辺整備計画の今後の進め方を問う。

答 都市計画部長　霞ヶ関カンツリー倶楽部で東京オリンピックのゴルフ競技が開催される予定から、利便性及び安全性の向上が求められることを踏まえ、当面必要となる県道川越日高線から笠幡駅へのアクセス道路及び駅前広場整備を検討している。今年度は、測量調査等を進めるとともに、関係権利者のご理解ご協力を得ながら、事業推進を図っていきたい。

　また、中長期的な駅周辺のまちづくりについては、各種計画と整合を図りつつ、地域の方の意見を聞きながら、総合的に検討していきたい。

質問 霞ケ関地区の諸問題

自由民主党　海沼　秀幸　**防災減災　竜巻被害を問う**　5

問 近年、本市において発生している多種多様な異常気象に鑑み、竜巻に対しての本市の認識について伺う。

答 総務部長　竜巻の脅威、危険性については、埼玉県内においても、平成25年９月に越谷市周辺、また同月に熊谷市周辺で竜巻が発生し、多くの負傷者や家屋の全半壊を含む大きな被害が発生している。

　竜巻は、局所的・突発的に発生するため、事前に備えることが大変困難である一方、発生した場合は、家屋の倒壊や自動車が飛ばされる等の甚大な被害をもたらす可能性があるものと考えている。

質問 防災減災

質問 池辺公園整備

質問 大袋新田一方通行問題

公明党　小ノ澤　哲也　**エアコンは一斉導入すべき**　7

問 小中学校のエアコンは皆が待ち望んでいる。どこの学校からと言うのではなく、公平性を重視して早期に一斉導入すべきである。市長の考えは？

答 市長※　エアコンを導入するにあたり、市が直接設置する場合、機器の調達数が膨大にのぼること、請負業者の手配が難しいこと、児童の授業に影響を及ぼさない工事期間の確保が難しいことなど検討すべき課題があり、一斉導入は、困難であると考える。

　本年度行う小学校における空調設備設置基礎調査の結果を踏まえ、最適な整備手法等について検討し、総合的に判断し、できるだけ早く導入していく。

質問 学校のエアコンの設置

質問 防災対策

自由民主党　吉敷　賢一郎　**過密と長距離通学の解消を**　6

問 児童・生徒一人当たりの教育上必要とする面積や学校の規模、通学の距離を踏まえた川越市としての基準や指針はあるのか伺う。

答 学校教育部長　本市全体の児童生徒数は、約30年後には、現在のおよそ３分の２まで減少する見込みである。そこで、中・長期的なビジョンに立って、小・中学校の適正な規模や配置に係る基本的な考え方を策定する必要があり、継続して検討をしている。

　今後も、人口推移や開発状況、国や県の方針等の情報収集に努めながら、学校の統廃合の必要性、通学区域の見直しや弾力化等、様々な面から検討を重ねていく。

質問 小中学校の取り組み

質問 小学校の施設と通学

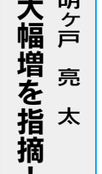
公明党　田畑　たき子　**安心・安全な学校給食を**　9

問 学校給食食物アレルギーの児童生徒に対し「安心・安全」な給食を今後どのように提供していくのか伺う。

答 学校教育部長　仮称新学校給食センターで調理するアレルギー対応食は、平成30年４月から市内小中学校・特別支援学校の55校全校を対象とし提供していく予定である。アレルギー対応食の提供としては、小学校１献立、中学校・特別支援学校１献立を基本に実施する。

　献立内容は、卵抜き・乳抜き・卵と乳の両方抜きの３つの除去食を基本とし、エネルギー量が不足しないよう考慮したものとする。また、「誤調理」、「誤配」、「誤食」など事故が起きないよう対策を進めていく。

質問 学校給食アレルギー対策



自由民主党　吉野　郁恵　**空家等対策、総合的検討を**　8

問 「空家等の活用を促進するため」とあり、また空家等及び跡地活用等について規定されているが、空家の利活用には、どのような方法があるのか。

答 市民部長　国が定めた「空家等に関する施策を総合的かつ計画的に実施するための基本的な指針」によると、空き家等の情報を市町村が収集し、関係事業者団体等と連携し、そのネットワークを通じて、広く当該空き家やその跡地を購入または賃借しようとする者へ提供することが示されている。

　また、空き家等を市が修繕した後、地域の集会所、井戸端交流サロン、移住希望者の住居等として活用することも示されている。

質問 空家対策特別措置法

公明党　大泉一夫　**外国人のリピーターづくり**　10

問 海外からの観光客は今後五輪開催に向けて増加が見込める。今からリピーターづくりに努めるべきと考えるが、川越市の今後の取組み計画は？

答 産業観光部長　川越を訪れた外国人観光客が快適に観光できるように、商店街などと協力し、免税手続きの一括カウンターの設置や、カード決済への対応などを推進していきたい。

　さらに、川越が好きになり、蔵造りの町並み等の歴史的景観や雰囲気など、川越の魅力を家族や友人に伝えてもらえるよう、外国人に優しい観光まちづくりに取り組むことで、外国人観光客のリピーターづくりを進めていきたい。

質問 五輪の外国人客誘致策

質問 公園等でのトイレ対策

公明党　桐野　忠　**平和施策の充実について**　11

問 戦後70周年、平和都市宣言10周年にあたり、市長発信で市民に対して平和の思いを伝えるなど、平和施策の充実についての考えを伺いたい。

答 市長　本年は、広島・長崎に原爆が投下されてから70年目、小江戸かわごえ平和都市宣言から10年目という節目の年であることから、本年度は長崎平和祈念式典への市民派遣事業を実施する。

　本市の平和施策の充実については、平和都市宣言にも謳われているように、今後も非核三原則の堅持とあらゆる核兵器の廃絶を求め、平和で安全・安心な都市を目指し、現在推進している平和施策の周知と継続的な実施に努めていきたい。

質問 平和施策の充実

質問 生活困窮者対策